



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月10日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,786	7.5	192	16.8	226	7.0	150	6.1
27年3月期第1四半期	4,454	△2.1	164	△2.4	211	△6.4	141	△6.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 254百万円 (45.1%) 27年3月期第1四半期 175百万円 (△54.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	16.89	-
27年3月期第1四半期	15.91	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	22,743	12,224	52.0	1,332.47
27年3月期	22,283	12,025	52.2	1,310.77

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 11,834百万円 27年3月期 11,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	6.00	-	6.00	12.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	6.00	-	8.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	12.2	500	22.4	530	13.7	340	10.8	38.28
通期	21,000	5.8	1,000	22.6	1,070	14.8	700	6.2	78.81

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	8,900,000株	27年3月期	8,900,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	18,386株	27年3月期	17,886株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	8,881,856株	27年3月期1Q	8,883,380株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)における我が国経済は、緩やかな景気回復基調ではあるものの力強さに欠ける状況でした。

企業収益は平成27年1～3月期で経常利益がリーマンショック前の平成19年以来の水準に回復した堅調さが続き、低金利を背景に設備投資も増加しました。ただ、一部の消費の低迷で在庫調整圧力があり鉱工業生産指数は一進一退となっています。個人消費は、消費増税後の反動減の影響が一巡し、株高や所得雇用環境の改善に伴って緩やかに持ち直しつつあります。しかし、大企業と中小企業、大都市圏と地方圏で景況感に差があり、回復のペースにはバラツキが見られます。外需は、円安が一定程度輸出を下支えする一方で、EU及び中国をはじめとする新興国の景気減速、自動車やスマートフォンの世界的な需要減が影響し、実質輸出増加が継続するには至っておりません。今後も、景気回復はまだら模様、一進一退の状況が続くものと予測されます。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、全体としては前年同期の低迷を抜け出し、売上高は4,786百万円で前年同期に比して331百万円の増収となりました。損益につきましては、営業利益192百万円(前年同期比27百万円の増益)、経常利益226百万円(同14百万円の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益150百万円(同8百万円の増益)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第1四半期連結累計期間出荷数量(ゴミ袋を除く)は、消費増税後の反動減があった前年同期を2.2%上回りました。価格改定の関係で例年より前倒し出荷となった米麦袋が大きく増加したほか、合成樹脂、製粉、飼料、その他食品等の用途が増加、一方でセメント、農水産物用途は減少しました。原材料である原紙が平成27年1～3月期から値上がりし、製品への価格転嫁は遅れ気味であったため、全般に採算は悪化しました。

当社の売上数量は前年同期比+3.8%であり、業界全体よりも大きな増加幅でした。合成樹脂、化学薬品用途が増加、一方で砂糖・甘味用途のほか、出荷時期の関係で米麦用途が若干減少しました。

子会社の九州紙工(株)の売上数量は米麦袋出荷の前倒しで前年同期比+20.3%でした。タイ昭和パックス(株)の当第1四半期連結累計期間(1～3月)は、前年後半以来の好調を持続、全体の売上数量は前年同期と比べて22.0%増加しました。山陰製袋工業(株)の当第1四半期連結累計期間(1～3月)の売上数量は前年同期比で△5.6%で、若干減少しました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は3,126百万円で、前年同期に対し8.5%の増収となりました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第1四半期連結累計期間の出荷量は、産業用は前年同期から減少しました。農業用は前年は消費増税後の反動で大きく減少したため、前年同期との比較では増加しました。主原材料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂価格は原油価格の下落を受け、平成27年1～3月期以降値下がりしています。

当社の売上数量は、業界全体の傾向と同様に、産業用は減少、農業用は増加で、合計では前年同期比△0.2%と、ほぼ横ばいでした。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は837百万円で、前年同期に対して2.2%の増収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、国内では窯業土石品、飼料、除染用が生産高を落とし、海外からの輸入数量も前年同期から大きく減少しています。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、自社製品は増加しましたが、輸入販売品は減少し、全体では前年同期比△1.7%でした。大型コンテナバッグ「バルコン」は微増でした。液体輸送用では、1,000l内袋「エスキューブ」が数量を落としました。液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は数量を復活させるに至っていません。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は344百万円で、前年同期に対して12.4%の減収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産及び賃貸契約内容に大きな変動はありません。当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は前年同期から3百万円増加し68百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末総資産は22,743百万円で、前連結会計年度末に比べて459百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金579百万円、商品及び製品195百万円および投資有価証券117百万円、主な減少要因は受取手形及び売掛金447百万円です。

(負債)

負債合計は10,519百万円で、前連結会計年度末に比べて261百万円増加しました。主な増加要因は電子記録債務507百万円およびその他の流動負債422百万円、主な減少要因は支払手形及び買掛金444百万円、短期借入金106百万円および賞与引当金101百万円です。

(純資産)

純資産合計は12,224百万円で、前連結会計年度末に比べて198百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益150百万円および剰余金の配当53百万円、その他有価証券評価差額金75百万円等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると増収増益の結果となりました。我が国景気の回復は力強さに欠け、海外景気も米国以外は停滞感が漂うなど不安要因が多くありますが、グループ全体で売上と利益の拡大に注力してまいります。

当連結会計年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)通期の業績見通しにつきましては、当初の予想(平成27年5月13日発表)を変更せず、連結売上高21,000百万円、連結経常利益1,070百万円、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円を見込みます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,966,091	4,545,750
受取手形及び売掛金	6,064,473	5,616,747
電子記録債権	60,737	154,705
商品及び製品	1,251,116	1,446,933
仕掛品	100,522	109,653
原材料及び貯蔵品	1,112,590	1,138,196
繰延税金資産	145,574	146,065
その他	307,981	207,139
貸倒引当金	△15,151	△11,522
流動資産合計	12,993,935	13,353,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,266,327	7,304,327
減価償却累計額	△5,004,385	△5,056,582
建物及び構築物(純額)	2,261,941	2,247,744
機械装置及び運搬具	9,202,671	9,248,562
減価償却累計額	△7,565,282	△7,654,276
機械装置及び運搬具(純額)	1,637,389	1,594,285
土地	895,260	896,721
リース資産	39,592	35,316
減価償却累計額	△22,402	△19,157
リース資産(純額)	17,190	16,159
建設仮勘定	42,264	79,872
その他	721,375	727,854
減価償却累計額	△632,275	△640,323
その他(純額)	89,100	87,530
有形固定資産合計	4,943,146	4,922,314
無形固定資産		
ソフトウェア	83,303	74,733
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	92,533	83,964
投資その他の資産		
投資有価証券	3,655,656	3,773,370
退職給付に係る資産	425,569	454,022
繰延税金資産	43,186	43,197
その他	138,357	123,044
貸倒引当金	△8,996	△10,249
投資その他の資産合計	4,253,774	4,383,386
固定資産合計	9,289,454	9,389,665
資産合計	22,283,390	22,743,334

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,789,304	3,345,189
電子記録債務	634,654	1,142,026
短期借入金	3,051,960	2,945,600
リース債務	4,924	4,834
未払法人税等	134,688	116,499
繰延税金負債	4,987	738
賞与引当金	295,963	194,427
役員賞与引当金	22,226	15,300
設備関係支払手形	9,649	12,650
営業外電子記録債務	4,825	57,201
その他	702,158	1,124,617
流動負債合計	8,655,343	8,959,086
固定負債		
長期借入金	159,000	155,000
リース債務	9,669	8,460
繰延税金負債	770,314	817,250
役員退職慰労引当金	170,671	78,664
環境対策引当金	14,005	14,005
退職給付に係る負債	285,165	294,210
資産除去債務	6,987	6,987
長期預り保証金	186,265	185,431
固定負債合計	1,602,078	1,560,009
負債合計	10,257,421	10,519,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	9,426,037	9,522,746
自己株式	△8,316	△8,576
株主資本合計	10,348,067	10,444,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,182,417	1,257,877
為替換算調整勘定	254,707	266,441
退職給付に係る調整累計額	△142,811	△134,385
その他の包括利益累計額合計	1,294,313	1,389,932
非支配株主持分	383,588	389,789
純資産合計	12,025,968	12,224,239
負債純資産合計	22,283,390	22,743,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,454,640	4,786,503
売上原価	3,676,652	3,948,518
売上総利益	777,987	837,985
販売費及び一般管理費	613,356	645,622
営業利益	164,631	192,362
営業外収益		
受取利息	1,060	870
受取配当金	36,493	39,406
負ののれん償却額	14,249	-
為替差益	1,371	792
その他	7,183	3,000
営業外収益合計	60,358	44,069
営業外費用		
支払利息	13,225	9,964
その他	234	111
営業外費用合計	13,460	10,076
経常利益	211,529	226,356
特別損失		
固定資産除却損	-	1,041
特別損失合計	-	1,041
税金等調整前四半期純利益	211,529	225,314
法人税、住民税及び事業税	65,717	67,793
法人税等調整額	270	△3
法人税等合計	65,988	67,789
四半期純利益	145,540	157,524
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,171	7,522
親会社株主に帰属する四半期純利益	141,368	150,002

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	145,540	157,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,850	75,830
為替換算調整勘定	△16,178	13,037
退職給付に係る調整額	7,350	8,426
その他の包括利益合計	30,022	97,293
四半期包括利益	175,563	254,818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,105	245,622
非支配株主に係る四半期包括利益	2,457	9,196

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,880,888	819,145	393,458	65,285	4,158,778	295,861	4,454,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,880,888	819,145	393,458	65,285	4,158,778	295,861	4,454,640
セグメント利益又は損失(△)	179,891	34,715	△10,323	40,179	244,463	22,584	267,047

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	244,463
「その他」の区分の利益	22,584
全社費用(注)	△102,416
四半期連結損益計算書の営業利益	164,631

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,126,881	837,389	344,523	68,614	4,377,409	409,093	4,786,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,126,881	837,389	344,523	68,614	4,377,409	409,093	4,786,503
セグメント利益又は損失(△)	185,102	45,670	△9,380	43,159	264,551	29,712	294,263

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	264,551
「その他」の区分の利益	29,712
全社費用(注)	△101,901
四半期連結損益計算書の営業利益	192,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。